

株式会社メイワ

2015年度環境活動レポート
(対象期間：2015年4月～2016年3月)



作成日：2016年6月1日

□ごあいさつ

当社は「アイデアとテクノロジーの融合」を目指し、冷熱事業、自動機事業の2つの柱で、品質管理を重視し、開発を続けてきました。徹底したニーズ志向で、時代の要求に応える製品づくりに努めています。

社訓である「個性を尊重し、特徴ある企業に高めよう」「豊かな人間関係、生活の向上を目指し社会に貢献しよう」を達成するため、常に環境の保全を意識し、環境に配慮した製品づくりを行い、豊かな循環型社会の構築に貢献します。

株式会社メイワ

代表取締役 高橋 正和

株式会社メイワ 環境方針

<基本理念>

わが株式会社メイワは、地球環境の保護・保全・改善が人類共通の最重要課題であることを深く認識します。

当社が行う事業活動において、全社一丸となって地球温暖化の防止、資源循環の促進ならびに環境への汚染節に努める活動を実施します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①当社の全事業活動において、環境影響を考慮し、環境負荷の低減に努めます。
 - ②この環境改善活動は、継続的に実施し、廃棄物の削減、汚染予防、及び省資源・省エネルギーに努めます。
 - ③環境にやさしい製品の開発、製造に努めます。
 - ④環境改善への取組は、全従業員へ周知させるとともに、公表し、誰もが当社の取り組みを閲覧できるようにします。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2007年10月1日

代表取締役社長
高橋 正和

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社メイワ

代表取締役社長 高橋 正和

(2) 所在地

本社・本社工場 和歌山県紀の川市長田中345-1

和歌山工場 和歌山県和歌山市島86-1

東京営業所 東京都港区芝1-11-16 ニチリンビル3階

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務グループ グループマネージャー 岡 徳治

TEL : 0736-73-7300

担当者 総務グループ 岡井 延彦

TEL : 0736-73-7300

(4) 事業内容

機械器具製造業

主要製品：圧力容器、熱交換器、冷凍機器、自動包装機械 他

(5) 事業の規模

製品出荷額 50億62百万円（2015年度実績）

	本社	和歌山工場	東京営業所
従業員	122名	17名	2名
延べ床面積 (㎡)	9987.2	1257	51.57

(6) 事業年度

2015年4月～2016年3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社メイワ
本社・本社工場
和歌山工場
東京営業所

対象外： なし

活動： 機械器具の製造

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	619,188	622,351	604,351
廃棄物排出量	kg	123,055	130,443	153,039
一般廃棄物量排出量	kg	31,510	35,120	39,430
産業廃棄物排出量	kg	91,545	95,323	113,609
総排水量	m ³	12,930	13,988	12,118

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2014年	2015年		2016年	2017年
		(基準年度)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	400,892	393,872	392,874	390,708	390,869	388,865
	基準年比	(2012年)	98.2%	98.0%	97.5%	97.5%	97.0%
LPGの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	177,435	175,633	173,886	174,068	172,999	172,112
	基準年比	(2012年)	99.0%	98.0%	98.1%	97.5%	97.0%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	41,889	43,192	41,054	34,292	40,844	40,635
	基準年比	(2012年)	103.1%	98.0%	81.9%	97.5%	97.0%
一般廃棄物の削減	kg	24,050	35,120	23,569	39,430	23,449	23,329
	基準年比	(2012年)	146.0%	98.0%	164.0%	97.5%	97.0%
産業廃棄物(可燃ごみ)	kg	22,360		—	22,360	22,248	22,136
	基準年比	(2015年) ※計量方法を変更	0.0%	—	—	99.5%	99.0%
廃油・汚泥の削減	kg	9,210	3,400	9,026	3,040	8,980	8,934
	基準年比	(2012年)	36.9%	98.0%	33.0%	97.5%	97.0%
廃プラスチックの削減	kg	2,540	2,669	2,489	0	2,477	2,464
	基準年比	(2012年)	105.1%	98.0%	0.0%	97.5%	97.0%
節水	m ³	15,401	13,988	15,093	12,118	15,016	14,939
	基準年比	(2012年)	90.8%	98.0%	78.7%	97.5%	97.0%
グリーン購入	購入率	38.1%	43.0%	40.0%	40.0%	41.0%	42.0%
		(2013年)	112.9%	105.0%	105.0%	107.6%	110.2%

※化学物質については、生産と連動しており、削減対象と出来ないため、適正管理に努めます。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	継続	計画通り省エネタイプのコンプレッサーを導入。不使用時の消灯の徹底が継続されており、大きな成果を上げている。
・不要時の消灯	◎	継続	
・空気圧縮機のエア漏れ点検・修理	○	継続	
・省エネ空調の導入	○	継続	
LPGによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	△		
・省エネ表示を行う。	△	継続	工数管理により、ボイラー等の稼動時間を削減したが、目標に僅かに未達となった。
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		
・エコドライブ	○	継続	2014年11月より開設した東京営業所により、関東地方への業務がスムーズに行えるようになった。
・積載オーバーをしない	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	×		
・分別の徹底	○	継続	生産量増加により、部材の廃梱包材が増加。通箱化等を検討し、配送梱包材の削減を目指す。
・裏紙使用の徹底	○	継続	
産業廃棄物（可燃廃棄物）の削減			
数値目標	—		
・分別の徹底	○	継続	廃棄重量の計量方法変更。来期よりは今年度を基準として削減する。
・部門毎の廃棄重量把握	○	継続	
産業廃棄物（廃油・汚泥）の削減			
数値目標	○		
・発生量の抑制	○	継続	清掃方法を改め、ロス削減を達成。
産業廃棄物（廃プラ）の削減			
数値目標	○		
・発生量の抑制	△	継続	再資源化できる体制が整った。
節水			
数値目標	○		
・オーバーフロー水の供給自動化	○	継続	オーバーフロー水の供給自動化の範囲を拡大。
グリーン購入			
数値目標	○		
・事務用品グリーン購入の呼びかけ	○		社内にグリーン購入を呼びかけ、効果が出ている。
製品への環境配慮			
数値目標	△		
・環境配慮製品の販売促進	△		販売数は増加傾向にある。

□環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法（危険物）	塗料・シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤ
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21活動の3年目となり、各種活動が継続して活発に行われている。

前年に引き続き、設備関係の更新時に省エネ設備導入を行い、省エネ化が進んでいる。

今後は廃棄物の削減と環境配慮製品の販売増が鍵となる。

改善事項の維持継続と更なるアイデアで環境面から社会貢献を目指す。

□環境活動の紹介

- ・太陽光発電（100kW）を設置し、環境活動に努めています。
- ・工場周辺に緑化地帯を設け、環境に配慮しています。
- ・LED照明・省エネタイプ空調等を積極的に採用し、CO2排出量削減に繋がっています。
- ・廃棄物の分別を積極的に行い、リサイクルによるCO2排出量削減を推進しています。
- ・梱包材の通箱化を推進しています。